

令和3年度 長崎市立西浦上中学校 学力向上プランランドデザイン

地域との連携・協働

- ・地域行事への積極的参加
- ・地域人材の活用
- ・地域への積極的な情報発信

保護者との連携・協働

- ・西中まるわかりガイドによる学校把握
- ・西中ノートやテスト振り返りのチェック
- ・三者面談や教育相談の充実

【学校教育目標】

心豊かで心身ともにたくましく
主体的に行動できる生徒の育成

学校

育成を目指す資質・能力

生きて働く 知識・技能

何を理解しているか
何ができるか

未知の状況にも対応できる 思考力・判断力・表現力

理解していること
できることをどう使うか

学びを人生や社会に生かそうとする 学びに向かう力・人間性

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

【研究主題】

個に応じた教育実践をとおした確かな学力と豊かな心を兼ね備えた生徒の育成

西浦上中学校の職員は…

「**進んで生徒を理解し、長所を伸ばす指導**」
に努めます。

西浦上中学校の職員は…

「**落ち着いた教室や学校環境の整備**」
に努めます。

西浦上中学校の職員は…

「**課題とまとめを明確にした学習指導**」
に努めます。

西浦上中学校の職員は…

「**タブレットを活用した授業の推進**」
に努めます。



1 学習規律…「西浦上中学びのルール」

- 一 学習準備は授業前、机の左上に
- 二 3分前着席、1分前学習
- 三 あいさつは心を込めて、しっかりと！
- 四 指名されたらまず返事！
- 五 発表は大きな声ではっきりと！
- 六 大事なことはメモをとって！
- 七 聞くときは、作業をやめて、体ごと。相手の目を見て、うなずこう！

2 学習習慣の確立…1日1P以上の自主学習

…自ら知りたいことや課題を定め、解決する方法を考え、
取り組む学習

4 心の教育…「特別な教科道徳を中心とした教育」

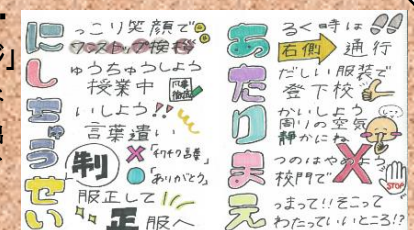
…特別な教科道徳を中心とした教育活動全体で取り組む道徳性の養成

3 生活習慣の確立…

①「西中パーフェクトチャレンジ」

- 一 きれいにそろった下足並べ
- 二 自主学習ノートの全員提出
- 三 時間を守った給食準備完了

②「西中生あたりまえ」



学力向上に向けた各教科のアプローチ

個に応じた教育実践をとおした確かな学力と豊かな心を兼ね備えた生徒の育成

全教科での
共通取組

課題とまとめの記述

国語科

- ・授業開始直後に学習部が慣用句やことわざのクイズを毎時間3～4問出す活動を行い、語彙を増やす。
- ・コラム欄の視写活動・要約活動を定期的な課題として出し、語彙力を増やし、読解力を高める。
- ・毎時間、ペア活動や班活動を取り入れ、言語活動の充実を図る。

社会科

- ・前時の確認テストやマスターシート、単元末テストを活用し、繰り返し学習することで、社会的な知識・技能の習得を図る。
- ・ワークシートを活用し、表現する活動に取り組むことで、自分の意見、考え、思い等を思考・判断・表現する力を身に付ける。
- ・よりよい社会の実現を視野に、現代社会が抱える諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

数学科

- ・授業始めを利用し、すべての生徒が解ける基礎・基本的な計算などを行う時間を設け、学習意欲を高める。
- ・数学的用語を用いて表現するグループ学習の機会を通して、数学的事象などの理由の説明ができるようにする。

理科

- ・授業最初の小テストや前時の振り返りの機会を設け、基本的な語句や方法の定着を図る。
- ・実験の機会を増やし、結果を体感することで生きた知識を得る機会を設ける。
- ・ディベート形式の話し合いや演習に取り組ませることで思考を深める場面、考えたことを文章で表現する機会を多く設ける。

美術科

- ・自己の主題や表現意図をもとに材料や用具などを選択し、表現活動に生かすことができるようにする。
- ・クロッキー帳を活用し、思考の過程を記録し、表現方法の選択などをまとめることができるようにする。
- ・対話的な学習活動を設定し、互いのものの見方や感じ方に気づき、新たな価値を見出すことができるようにする。

音楽科

- ・生徒一人ひとりが思いや意図をもって自分の言葉で説明する活動を取り入れ、主体的に音楽のよさや美しさを感じ取り、表現する力を身に付ける。
- ・音楽の鑑賞を通して、音楽の多様性や音楽と生活との関わりを理解することで、音楽に対する価値意識を広げ、世界の音楽文化を尊重する態度を養う。

保健体育科

- ・個人活動・班活動の振り返りで出た疑問を生徒同士の対話的な活動から解決する学習を行うことで、コミュニケーションを取りながら、理解を深めるようにする。習熟度にあわせた班編成や教え合いができる班編成を種目に応じて組み合わせる。
- ・保健分野については、健康に関する地域の具体的な取組について情報提供をしながら興味や関心を持たせる。
- ・教材や教具については色分けや分別ボックスを利用し、把握しやすいようにする。

技術・家庭科

- ・小学校の学習内容と関連つけながら、系統的な学習を意識して行い、生活と技術について基礎的な理解・技能の定着を図る。
- ・獲得した知識・技能を生かした実践的・体験的活動を行い、実生活や社会の新たな課題を発見・改善する力を育む。
- ・自ら問題を発見し、級友と調査したり、協力して課題を解決する活動を仕組み、達成感を味わわせる。(教員はサポートを行う)

英語科

- ・目的、場面、状況に応じた言語活動の充実を図り、コミュニケーション能力を高める。
- ・事実や自分の考え・気持ちなどを簡単な語句や文を用いて、正確かつ適切にまとまりのあることを話したり、書いたりする力を身に付ける。
- ・英語の指示や説明など必要な情報や話の概要を聞き取る力を身に付ける。(1年30語、2年40語、3年60語程度)
- ・スラッシュリーディングや多読の活用で必要な情報や要点を読み取る力を身に付ける。